

# セルセプトを服用される 女性の患者さんへ

～ 妊娠に関する注意 ～

～ 監 修 ～

国立研究開発法人国立成育医療研究センター  
周産期・母性診療センター 主任副センター長  
妊娠と薬情報センター センター長

**村島 温子 先生**

この冊子には、セルセプトに関する重要な情報を掲載しています。セルセプトの服用を始める前によくお読みください。また、この冊子の内容を男性のパートナーの方にもお伝えください。



医療機関名

セルセプトについて分からないことや気になることがありましたら  
担当医または薬剤師にご相談ください。

妊娠を希望される方のお薬について、  
妊娠と薬情報センターに相談することができます。

<http://www.ncchd.go.jp/kusuri>



## セルセプトについて



セルセプトは「免疫抑制剤」です。以下のような目的で使われています。

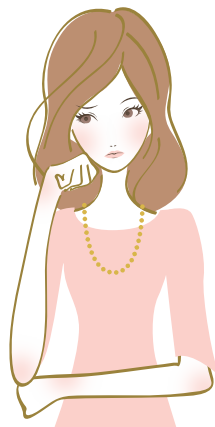
- 腎移植、心移植、肝移植、肺移植、膵移植、造血幹細胞移植を受けた患者さんの免疫系の活動を抑制して、拒絶反応（移植された臓器を「異物」とみなして攻撃すること）が起こるのを防ぐ働きをします。
- 自分の体に対する抗体を産生する疾患の一つであるループス腎炎に対して、免疫系の活動を抑制して病気の活動を低下させる働きをします。

## セルセプトの服用と妊娠について

妊娠中にセルセプトを服用した方で以下のような報告があります。

- **外見や内臓の奇形**をもつお子さんの出産
- 妊娠初期（3ヶ月）に**流産する**リスクの上昇

※誤飲防止のため、子供の手の届かないところで保管してください。





## 特にご注意いただきたいこと



### ～ セルセプトの服用を始める前 ～

- 妊娠検査で陰性である（妊娠していない）ことを確認してから服用を開始してください。

### ～ セルセプトの服用中 ～

- セルセプトの服用を開始したら、服用中および服用終了後6週間は確実に避妊をしてください。
- 避妊方法には、以下があります。

- ・コンドーム（女性用、男性用） ・ピル（経口避妊薬）
- ・子宮内避妊器具 ・殺精子剤 など

このうち、殺精子剤は正しく使用した場合でも避妊失敗率が高く（18%）、またコンドームやピルを正しく使用した場合でも、避妊に失敗する可能性があります（男性用コンドーム：2%、ピル：0.3%）。<sup>1)</sup>

より確実に避妊をするために、複数の避妊方法によって避妊を実施してください。

1) Trussell J. Contraceptive failure in the United States. *Contraception*. 2011;83(5):397-404.

- 妊娠した可能性がある場合（避妊に失敗した場合）は、すぐに医師にご相談ください。

### ～「緊急避妊薬（アフターピル）」について～

妊娠した可能性がある場合に、「緊急避妊薬（アフターピル）」を用いることもできます。その場合は、医療機関で診察を受け、72時間以内に服用しなくてはなりません。

服用がより速やかな方が、効果が高くなるとされています。



# Q&A

**Q.セルセプトを1度飲むとずっと妊娠できなくなってしまうのですか？**

A.セルセプトの服用をやめて、6週間以上たてば体内にセルセプトは残っておらず、お子さんに影響を与えないと考えられています。

**Q.何歳まで避妊をする必要がありますか？**

A.年齢に関係なく、生理のある間は避妊をしてください。

**Q.膣外射精を行えば避妊できますか？**

A.膣外で射精を行った場合でも、射精前に精子を含んだ精液が女性の体内に移行することがあるため、確実な避妊法ではありません。

**Q.妊娠を希望しますがどうしたらいいですか？**

A.妊娠を希望される場合は担当医に相談してください。  
予定外の妊娠を避け、計画的に妊娠することが大切です。

**Q.授乳はできますか？**

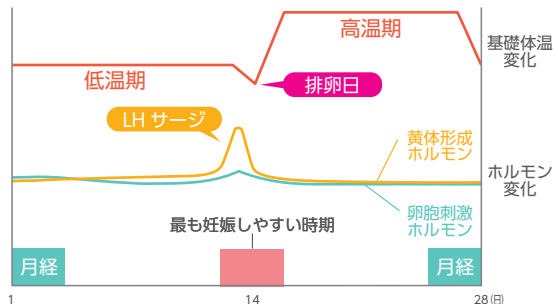
A.セルセプトの服用中は授乳を希望される場合は担当医にご相談ください。

**Q.妊娠したかもしれない場合、すぐに服用をやめていいですか？**

A.薬の服用をやめると状態が悪化する可能性がありますので、ご自分のみの判断で服用を中止せず、すぐに担当医にご相談ください。

## 性周期について

女性の性周期には、卵胞期、排卵期、黄体期、月経の期間があります。黄体形成ホルモン(LH)が一過性に多く分泌(LHサージ)されると、その後排卵が起こります。この前後数日間が最も妊娠しやすい時期となります。



すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社

医薬品リスク管理計画  
(RMP)



A member of the Roche group

本資料は医薬品リスク管理計画に  
基づき作成された資料です

2023年8月改訂  
CEL0167\_05